

平成21年第14回県教育委員会会議
教育長報告

1 報告事項

2009沖縄伝統空手道世界大会について

2 事項の説明

- (1) 主催 2009沖縄伝統空手道世界大会実行委員会、沖縄伝統空手道振興会
(2) 期間 平成21年8月14日(金)～16日(日)
(3) 場所 県立武道館
(4) 参加者 海外 728名(40カ国：審判員、監督含む)
 県外 170名(18都道府県：審判員、監督含む)
 県内 5,161名(競技大会及び交流演武大会参加者)
 合計 6,059名

(5) 内容

ア 奉納演武：8月8日(土)18:30～19:00

大会の成功を期して、沖縄県指定無形文化財保持者4名による奉納演武が首里城『御庭』にて行われた。

イ 開会式：8月14日(金)12:30～14:00

県立武道館アリーナに世界40カ国から、役員・選手950人の参加の下、満員の観客を集め、盛大に開催された。式典は、小禄高校のマーチングショー及び琉球国祭り太鼓による演舞が行われ、その後、審判団を先頭に各国選手団が入場した。

ウ 交流演武大会：8月14日(金)14:20～17:30

県内外、海外の空手道古武道愛好家総勢5,000名余が集団演武を行い、国際交流と技術交流を深めた。

エ 空手道古武道競技大会：8月15日(土)8:15～20:00

空手道型・古武道(棒の部)・古武道(サイの部)の3部門14種目で646人の競技選手による鍛え抜かれた力強い演武が繰り上げられた。

オ 沖縄伝統空手道セミナー：8月16日(日)9:00～16:30

午前の部では、県指定無形文化財保持者を講師とした6セミナー、午後の部では、県内外・海外で活躍する各流派・各会派の先生方による13のセミナーが行われ、1,629人の受講者が本県において体系化された伝統的技法を学んだ。

カ 交流会：8月16日(日)18:00～20:00

大会でしのぎを削った40カ国の選手団と県内外の大会関係者1,000名余が親しく交流を深め、お互いの健闘を讃え合った。

(6) 総評

本大会は、平成20年2月に設立された県内空手道団体の統一組織「沖縄伝統空手道振興会」の設立を記念した大会である。同年11月に設立された大会実行委員会は、事務局を県教育委員会内に置き、総務、式典及び広報関係を担当した。また、交流演武会、競技大会及びセミナーの企画運営は、沖縄伝統空手道振興会が担当して業務が進められた。

大会には、海外40カ国より728名、県外より170名の空手道古武道愛好者の参加を得て盛大に行われ、沖縄空手道古武道を正しく継承し、普及・発展させるためのネットワークづくりを推進するという大会開催の所期の目的は達成された。

今後の世界大会開催については、沖縄伝統空手道振興会による大会事務局の設置など主体的な取り組みが必要である。県は、同会から、大会開催の具体的な要請等があれば、開催に向けての支援策を検討する。